

Webデザイナーカリキュラムに関する一考察

A Study of a Web Designer's Curriculum

橋本 咲 大崎 佑一 山田 修司
HASHIMOTO Hitomi, OOSAKI Yuuichi and YAMADA Syuuji

I はじめに

Webページ（一般的には「ホームページ」）を作成する指導にあたっては、「HTML」を核にして、Webページのコンセプト、コンテンツ、素材の収集、ページデザインを基本として学習させ、「学内公開専用WWWサーバ」にアップロードし、互いの学生の作品を鑑賞することで学生のプログラミング感覚とデザイン感覚を学習させている。また、インターネット上に沢山あるWebサイトを検索させて印象深いWebページはどのような構成になっているかを観察させている。しかし、現行のカリキュラムではWebデザイナーとしての技能を学習させる体系としては不十分であるので、新しく科目を新設することで対応することを検討した。

本論文の構成は以下のとおりである。第2章では新設科目の概要について説明する。第3章では各新設科目の指導目標と内容について述べる。第4章では結論と今後の課題についてまとめる。

II 新設科目について

Webページを作成する手法の演習を中心として、クライアントがどのような製品を望んでいるか要求分析から提案に至る過程から、インターネットの全般的な事柄、情報倫理、著作権に関わる内容が学習できる科目群として構成した。新設科目として表1の5科目を新設することとした。このことは情報処

表1：新設科目一覧

新設科目名	概 要	開講時期
ウェブデザイン論	Webサイトとインターネット、情報倫理等	1年後期
デザイン論	Webサイトデザイン基礎理論等	2年前期
ウェブデザイン演習Ⅰ	HTML、画像処理演習、CSS等	1年前、後期
ウェブデザイン演習Ⅱ	レイアウト、動画処理演習、素材収集、ケーススタディ等	2年前、後期
ウェブプログラミング演習	CGI、言語使用演習等	2年前、後期

はしもと ひとみ おおさき ゆういち やまだ しゅうじ (経営情報学科)

理士の称号申請に必要とされている履修科目を基礎として検討したものである。

Ⅲ 各新設科目の目標と内容

Ⅲ.1 ウェブデザイン論

インターネットの仕組みから今後の動向まで、インターネットに関する総括的な理解を目指す。また、実際にWebサイトを運営する際に必要な知識やマナーの習得を目指し、Webサイトの規格や使用する言語、文字・画像など情報の関連付けと視覚化、さらにサイト運営における著作権問題を含む内容とする。

表2：ウェブデザイン論の講義内容

1	インターネットの仕組み	9	サイトの概念
2	インターネットの歴史	10	サイト作成から公開まで
3	インターネットの接続方法	11	サイトの運営とマナー
4	TCP/IPについて	12	サイトの運営におけるセキュリティ
5	電子メールの仕組みとマナー	13	インターネットと産業
6	WWWの仕組み	14	インターネットと社会問題
7	WWWサービス	15	今後のインターネットの動向
8	WWWサービスの利用方法とマナー		

Ⅲ.2 デザイン論

Webサイトを観察比較しながら、いろいろなデザインの実際を分析し、アイデア、技法を学び、Webサイトの企画提案にあたり効果的で説得力あるWebページを作成するため、各ページの「見映え」と「読み」について情報配置、情報表現、色彩心理、色彩計画を含む内容とする。

表3：デザイン論の講義内容

1	トップページをデザインする	9	ページデザイン（サイト構成各種ページ）
2	トップページのタイプを見る	10	ページデザイン（サイト構成各種ページ）
3	サイトデザイン（文字と書体）	11	ナビゲーションデザイン（スタイル1）
4	サイトデザイン（カラープラン）	12	ナビゲーションデザイン（スタイル2）
5	サイトデザイン（カラーリング実践）	13	パーツデザイン（画像・写真）
6	ページデザイン（メリハリをつける）	14	パーツデザイン（ロゴ・バナー・背景）
7	ページデザイン（テーブルの活用）	15	総合演習・まとめ
8	ページデザイン（テーブルの活用）		

Ⅲ.3 ウェブデザイン演習Ⅰ

Webページ作成についての幅広い背景知識や技術を、実際にコンピュータを使った実習を通して学ぶと共に、ネットワーク社会へ情報の発信するための能力を育成する。具体的には、HTML言語の基本構成、ページ装飾、フレーム活用、ページ移動の学習や、また視覚的に優れたWebページを作成するため、マルチメディア表現技術の活用や、スタイルシート及びJavaScriptを用いたインタラクティブサイト作成を行い、より実用的なWebデザイン能力を育成できる内容とする。

表4：ウェブデザイン演習Ⅰの演習内容

1	Webページ設計の基礎知識
2	HTML文書の作成の基礎
3	基礎的なWebページ作成(1)：基本タグ
4	基礎的なWebページ作成(2)：イメージタグ
5	基礎的なWebページ作成(3)：リンク
6	課題演習(1)
7	Webページのレイアウト(1)：テーブルで作表
8	Webページのレイアウト(2)：テーブルでレイアウト
9	課題演習(2)
10	ナビゲーション性の向上したWebページ(1)：基本的なフレーム
11	ナビゲーション性の向上したWebページ(2)：複雑なフレーム
12	課題演習(3)
13	インタラクティブなWebページ：フォーム
14	HTML言語を用いた総合演習(1)
15	HTML言語を用いた総合演習(2)
16	スタイルシート (CSS) 作成の基礎
17	CSS設定方法(1)：色、テキスト、フォント
18	CSS設定方法(2)：リンク、アンカー
19	CSS設定方法(3)：背景、マージン
20	課題演習(4)
21	CSS設定方法(4)：padding、border
22	課題演習(5)
23	JavaScriptを用いたインタラクティブサイト(1)：変数、関数
24	JavaScriptを用いたインタラクティブサイト(2)：ドキュメント、ウインドウ
25	課題演習(6)
26	JavaScriptを用いたインタラクティブサイト(3)：ダイアログ、イベント
27	JavaScriptを用いたインタラクティブサイト(4)：フォーム、ブラウザ
28	課題演習(7)
29	Webページ作成総合演習(1)
30	Webページ作成総合演習(2)

Ⅲ.4 ウェブデザイン演習Ⅱ

実際の制作現場で「Webデザイン」を行うに必要な知識の総合化を目標とし、全体的な流れ、効率化、デザインのセオリー・パターン、パーツ作成等、Webサイトを完成させるためのノウハウを学べる

内容とする。

表5：ウェブデザイン演習Ⅱの演習内容

1	Webデザインのワークフロー	16	総合課題作品演習 1
2	Webサイトのビジョン	17	アニメーションの基本
3	トップページデザイン	18	アニメーションの作成
4	コンテンツページデザイン	19	総合課題作品演習 2
5	課題作品演習 1	20	Webレイアウト
6	素材を生かしたグラフィック 1	21	トップページレイアウト
7	素材を生かしたグラフィック 2	22	コンテンツページレイアウト
8	素材を生かしたグラフィック 3	23	総合課題作品演習 3
9	課題作品演習 2	24	自由課題作品演習 1
10	パーツデザイン 1	25	自由課題作品演習 1
11	パーツデザイン 2	26	自由課題作品演習 1
12	パーツデザイン 3	27	自由課題作品演習 2
13	課題作品演習 3	28	自由課題作品演習 2
14	課題作品演習 4	29	自由課題作品演習 2
15	課題作品演習 5	30	Webサイトまとめ

Ⅲ.5 ウェブプログラミング演習

Webページにより高度な表現と機能を付加するために、様々な言語の用途とそのプログラミングについて学ぶ。具体的には、HTML言語によるWebページの装飾、JavaScript言語による動きのあるWebページの作成、Javaアプレットを利用したWebページによるアプリケーションの提供、Perl言語によるデータ収集Webページの作成を行う。また、作成したWebページは学内ネットワーク上で公開することを含む内容とする。

表6：ウェブプログラミング演習の演習内容

1	HTML：基本構成	16	Javaアプレット：プログラム基礎
2	HTML：テキストの装飾	17	Javaアプレット：テキスト表示
3	HTML：表の作成	18	Javaアプレット：画像表示
4	HTML：イメージの挿入	19	Javaアプレット：描画(1)
5	HTML：フレームの作成	20	Javaアプレット：描画(2)
6	HTML：ハイパーリンク	21	Javaアプレット：マウス処理(1)
7	JavaScript：プログラミング基礎	22	Javaアプレット：マウス処理(2)
8	JavaScript：命令記述	23	Javaアプレット：コンポーネント
9	JavaScript：変数定義	24	CGI：WWWサーバの仕組み
10	JavaScript：関数定義	25	CGI：Perlプログラミング基礎
11	JavaScript：イベント処理	26	CGI：アクセスカウンタの作成
12	JavaScript：フォームの作成(1)	27	CGI：掲示板の作成(1)
13	JavaScript：フォームの作成(2)	28	CGI：掲示板の作成(2)
14	JavaScript：動きのあるWeb作成	29	CGI：アンケートWebの作成
15	JavaScript：動きのあるWeb作成	30	CGI：アンケートWebの作成

IV おわりに

Webデザイナーカリキュラムは「情報処理士」のカリキュラムをベースにして検討した。「情報処理士」のカリキュラムは現行では表7の内容となっている。

表7の科目に加え第2、3章で説明した5科目を履修させることでWebデザイナーとしての基本を学

表7：「情報処理士」のカリキュラム

科 目	内 容
情報処理論	コンピュータ情報処理の原理
プログラミング	プログラム作成理論
ビジネス実務演習	個人業務、共同業務の基本
コンピュータ演習	表計算による情報処理
会計ソフト演習	コンピュータによる経理
プログラミング演習	プログラム作成演習
情報メディア	コンピュータメディア活用
システム設計	EUCとしての効果的なコンピュータ活用
データベース演習	企業情報の効果的な活用
経営学概論	人・モノ・金・情報の組み合わせ論
簿記Ⅱ	会社制度会計と決算
会計学	企業会計論
事務機器演習	ビジネス文書作成演習

習させることとした。何分にも2ヶ年間という制約の中で開講するという事となるので、5科目の開講時期については理論が先か実践が先かという議論もあったが、はじめにWebページ作成を具体的に作成体験し、それを元にデザイン理論を学ぶ構成とした。

クライアントの要求を実現するには当然のことながら業務体験が必要となる。それを補う方策としてインターネット上に存在する多くの具体的なWebサイトを教材として取り入れることとした。いろいろなWebサイトを参考にすることにあたっては、トップページを「エントランス型」、「イメージマップ型」、「目次・カタログ型」、「ポータルサイト型」、「情報・キャンペーン型」、「アニメーション型」等いくつかのカテゴリに分けてみせる。また、各種のWebサイトを「つたえる」、「みせる」、「うる」、「くばる」、「おしえる」、「あつめる」、「きかせる」等、いくつかのカテゴリを設けて検索させ、特徴を捉えながら見て分析させることなども取り入れて行きたい。見て学ぶことはデザインを学習する上で欠かせない事柄である。Webサイトは最新の情報を提供していくことが宿命である。アップデートやメンテナンスのためのドキュメンテーションを如何に整理しておくか、開発の過程であわせて行うことが必要となってくる。以上のような事柄に関しては、今後、開講するにあたり学生に提供するシラバスを詳細に検討し整合性を図り対応していきたいので、このことについて引き続き研究していく所存である。

参考文献

- (1) 高橋 晃著「ゼロから始めるWebデザイン」西東社
- (2) 伊藤 弘行、横井 弘之著「Webデザインの仕事術」毎日コミュニケーションズ
- (3) 坪沼 真理著「WebデザインBOOK」成美堂
- (4) 宮窪 信治著「Webデザイン基本BOOK」新星出版
- (5) 小笠原たけし著「プロがこっそり教えるウェブ制作術」SOFTBANK
- (6) シーズ著「Webカテゴリ別デザイン&配色パターンガイド」エムディエヌコーポレーション